

令和 5 年 12 月 吉日
奈良国立博物館

特集展示
新たに修理された文化財

Thematic Exhibition from the Permanent Collection

Newly Conserved Cultural Properties

特集展示

新修復文物系列展

특집 전시

새롭게 수리한 문화재

[1] 会 場 奈良国立博物館 西新館

[2] 会 期 令和 5 年 12 月 19 日 (火) ~ 令和 6 年 1 月 14 日 (日)

休 館 日 毎週月曜日、12 月 28 日 (木) ~ 1 月 1 日 (月・祝)、1 月 9 日 (火)

開館時間 午前 9 時 30 分 ~ 午後 5 時

※ 入館は閉館の 30 分前まで

[3] 主 催 奈良国立博物館

[4] 観覧料金 名品展 (なら仏像館・西新館・青銅器館) の料金でご覧になります。

一 般 700 円

大 学 生 350 円

- ※ 高校生以下および 18 歳未満の方、満 70 歳以上の方、障害者手帳またはミライロ ID (スマートフォン向け障害者手帳アプリ) をお持ちの方 (介護者 1 名を含む) は観覧無料です。
- ※ 高校生以下及び 18 歳未満の方と一緒に観覧される場合、子ども 1 名につき、同伴者 2 名まで一般 100 円引き、大学生 50 円引きとなります。
- ※ この観覧料金で、特別陳列「おん祭と春日信仰の美術—特集 春日の御巫一」(西新館)、名品展「珠玉の仏教美術」(西新館)・「珠玉の仏たち」(なら仏像館)・「中国古代青銅器」(青銅器館) をあわせてご覧いただけます。

[5] 問い合わせ先

奈良国立博物館 Nara National Museum

〒630-8213 奈良市登大路町 50 番地（奈良公園内）

ハローダイヤル 050-5542-8600

ウェブサイト <https://www.narahaku.go.jp/>

〈交通案内〉

近鉄奈良駅下車徒歩 15 分、

またはＪＲ奈良・近鉄奈良駅から市内循環バス外回り「氷室神社・国立博物館」下車すぐ

※資料に関するお問い合わせ先

奈良国立博物館 学芸部 情報サービス室

Tel 0742-22-4463(直通) Fax 0742-22-7221

[6] 展示件数 6 件（うち重要文化財 3 件）

[7] 展示内容

長い歴史を経て今に伝わる文化財は、その多くが過去に人の手による修理を受けながら大切に保存されてきたものです。これらの文化財をさらに未来へと継承していくために、当館では、彫刻・絵画・書跡・工芸・考古の各分野の収蔵品（館蔵品・寄託品）について、毎年度計画的に修理を実施しています。

本特集展示では、前年度までに修理された収蔵品の中から選りすぐった文化財を展示公開すると共に、その修理内容についてパネルでご紹介いたします。

[8] 展示品一覧

指定	文化財名称	員数	時代	所蔵者	修理期間
重文	阿弥陀如来坐像	1 軀	平安時代	京都・泉屋博古館	令和 4 年度
	藏王権現立像	1 軀	平安時代	当館	令和 4 年度
	仏像背板	1 点	鎌倉～室町時代	当館	令和 4 年度
重文	絹本着色釈迦三尊像	3 幅	鎌倉時代	和歌山・總持寺	令和 2 年度～4 年度
	南都寺社古文書・古記録等	22通の うち 6 通	奈良～室町時代	当館	令和 4 年度
重文	金銅宝塔形經筒	1 合	平安時代	当館	令和 4 年度

[9] 主な展示品

1. 重要文化財 阿弥陀如来坐像

木造 彩色 平安時代 大治 5 年 (1130)

京都 泉屋博古館

国庫補助・住友財団助成による修理（令和 4 年度）

施工 公益財団法人 美術院

11世紀に仏師定朝が造り出した優美な像容（定朝様）に則った如来像。像内に大治5年の年紀と女性を多く含む結縁者の名が記される。表面をクリーニングした後、彩色層の剥落止めを行い、虫孔や朽損箇所に樹脂を浸み込ませて像容の回復と安定を図った。



2. 重要文化財 宝塔形経筒（伝福岡県出土）

銅製 鋳造 鎏金 平安時代（12世紀）

当館

館蔵品修理（令和4年度）

施工 公益財団法人 元興寺文化財研究所

末法思想を背景に築かれた経塚において、経巻を地中に納める際に用いた入れ物。平面円形の塔身に方形の屋根をかけた宝塔を模している。クリーニングにより表面の線刻が明瞭になり、さらに防錆処理、強化、欠失部の復元を行った。

（写真提供：公益財団法人 元興寺文化財研究所）

